

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス みらすくキッズたいよう		
○保護者評価実施期間	令和8年2月20日	～	令和8年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日	～	令和8年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月30 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所の強みは子どもが「楽しい」と感じながら成長出来る支援を重視している点です。遊びや集団活動を通して成功体験を積み重ね、自信や意欲を育てています。また、個別支援と集団活動をバランスよく取り入れ、社会性やコミュニケーション能力の向上にも繋がっています。	個々の発達段階に応じて、目標を設定し視覚支援やスモールステップでの課題設定を行い、達成感を感じられるよう工夫しています。また、コグトレやソーシャルスキルトレーニング(SST)等を取り入れ、楽しみながら認知機能や社会性の向上に繋がる取り組みを意欲的に実施しています。さらに定期的なケース検討や職員研修を行い、支援方法の見直しと専門性向上にも努めています。	支援に質の更なる向上を目指し、定期的な職員研修や外部研修への参加を推進し、専門的知識・技術の習得に努めて参ります。また、個別支援計画の見直しや支援内容の検証を行い、より効果的な支援へ繋げていきます。あわせて、保護者への情報発信や相談支援の充実を図り、家庭と連携した支援体制の強化に取り組みます。
2	「できることを増やす」だけではなく、「実生活で使える力」に結び付けて日々の支援に取り組んでいる点です。活動の中で、買い物体験(昼食の購入やおやつのおやつ)や時間を意識した行動、ルールのある遊び等を取り入れ、社会生活を意識した経験を積めるよう工夫しています。また、トラブル場面も学びの機会と捉え、気持ちの伝え方や折り合いの付け方を丁寧に支援しています。	・「できる事を増やす」だけで終わらず、→買い物・時間管理・ルール理解等日常生活で使える力に結び付けている。 ・座学ではなく、活動(買い物体験・遊び)を通して、実感しながら学べるように工夫。 ・トラブル=ダメではなく→成長のチャンスとして捉えている 気持ちの伝え方、折り合いの付け方を丁寧に支援 ・「個」と「集団」の両方を育てる意識	今後は、より実生活に即した支援を充実させるため、個々の課題や特性に応じた活動内容の見直しを行い成功体験を積み重ねられる機会をさらに増やしていきます。また買い物体験や時間管理等の実践的な活動の幅を広げるとともに振り返りの機会を設ける事で、経験を定着へ繋げていきます。加えて、保護者との情報共有や関係機関との連携を一層強化し家庭や学校との一貫した支援体制を整えて行きます。職員間でも支援方法の共有や研修を行い、支援の質向上に継続的に取り組んで行きます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個々の特性に応じた支援は行えているものの、活動内容が一部固定化している面があり、より多様な経験機会の提供に課題があります。	個々の特性に応じた支援は行えている一方で、活動内容が一部固定化している要因として、日々の支援の準備や安全面への配慮を優先する中で、新たな活動を企画・検討する時間が十分に確保できていない点があげられる。また、職員ごとの経験や得意分野に依存する傾向があり、活動のアイデアや実践例の共有が十分ではないことから結果として内容が限定的になっている側面がある。	活動内容の固定化を改善する為、職員間で活動アイデアや実践例を共有する機会を定期的に設け、支援の幅を広げていきます。また、年間・月間の活動計画を見直し、意図的に多様な体験活動を取り入れる事で、偏りのない支援内容となるよう工夫して行きます。
2	実生活を意識した取り組みについて、実施はしているものの、振り返りや定着を意識した支援が十分とは言えず、学びを深める工夫が必要	・活動後に個別で振り返りを行う時間や仕組みが十分に確保できていない。 ・振り返りの方法や視点が職員間で統一されておらず経験を言語化したり次の行動に繋げたりする支援が不十分になっている側面がある。	地域資源や外部機関の活用を進め、買い物体験や社会参加の機会を増やすことで、実生活に即した経験の充実を図ります。加えて、活動後の振り返りを職員間でおこない、良かった点や改善点を共有する事で、継続的に支援の質の向上に繋げていきます。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス みらすくキッズたいよう

公表日 年月日

利用児童数 18 (うち兄弟利用家庭: 1組)

回収数 配布17/回収15

	チェック項目	利用児童数 18 (うち兄弟利用家庭: 1組)				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1			・学習室や身体を動かすことが出来る療育室、少くくり体を休める事が出来る和室等の個室も充実していると思います。	・運動療育を実施出来る療育室をはじめ、学習室、和室、その他個室を設けて気持ちの切り替え易い必要な環境でもしつかり対応する事が出来るようスペースを設けております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1	・適切に配置されていると思います。	・個々の対応が行えるように配置基準を満たした職員を配置しております。今後もお子様が安心して過ごす事が出来るように配置基準を徹底し療育の提供を行って参ります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1			・ほとんど死角がなくフロアにして子どもを監視することが出来ると思います。 ・玄関の段差があるので車椅子等の使用は難しいと思います。	・子ども達の気持ちの切り替え、行動の切り替えがスムーズに行えるよう指導する用途で個別分けを行っております。「バリアフリー」につきましては今後必要に応じて検討して参ります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				・いつも清潔にキレイに保たれていると思います。療育室がごちゃごちゃしていないので子ども達も過ごしやすいと思います。	・お子様にとって安心安全を第一に考え療育室を清潔に保つ事を意識しております。今後も子ども達が安心して過ごせる環境作りを目指して参ります。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・学校でのやり取りや様子について相談をするべくに学校側や児童本人との話しをしていくとトラブル解決へ繋がってくれるので本当に助かっています。	・お子様やご家族の思いにしっかりと寄り添い安心して参ります。今後も各関係機関と連携しお子様が安心して過ごす事が出来る環境づくりを行って参ります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1		1	・どこに公表している支援プログラムが分からない。 ・確認をしたことが無い。	・概ね公表している支援プログラムに沿った支援を実施していますが、一部活動や説明に分かりにくい点があるため、保護者へより丁寧に説明を行うとともに、プログラムの内容の発信を行い、実際に参加した上で改善していきます。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1				・お子様の特性や課題、保護者のニーズを踏まえた個別支援計画を作成しておりますが、より個別のニーズでの分析や情報共有を強化する為、職員間のケース会議や記録の充実をはかり、支援の質の向上に努めています。	
	8 放課後等デイサービス計画は、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1				放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目を踏まえ、お子様一人ひとりの特性や課題に応じた必要な支援項目に対しては具体的な支援内容を明記し、個別支援計画に反映しています。今後も定期的な見直しを行い、より適切な支援の提供に努めて参ります。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1				個別支援計画に沿った支援の実施に努めていますが支援内容の統一や職員間での連携はまだまだ見られる事があるため、記録の充実やケース会議の活用を通して、より計画に基づいた支援の提供を促していきます。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	1		・色々な活動が組み込まれていると思います。特に夏休み前後の長期休暇は施設、休まずない事をたくさんさせてもらい充実した夏休みになりました。	活動プログラムが固定化しないよう工夫していますが、特に長期休暇前後の長期休暇は施設、休まずない事をたくさんさせてもらい充実した夏休みになりました。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	2	4	・子どもからあまり聞いたことが無い。 ・利用を開始したばかりなのでどちらとも言えません。	お子様一人ひとりの特性や課題や環境への配慮を踏まえ、現在は外部との交流の機会は限定的としています。今後は保護者のご意向を踏まえながら、無理のない範囲で外部との交流の機会を増やして参ります。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				・利用開始の際しつかり説明を受けました。	説明時に運営規程や支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っています。また、ご不明な点については随時ご質問に対し、保護者様にご理解いただけるよう努めています。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13			1	1	しつかり説明してくれます。	個別支援計画に基づき支援内容の説明を行っていますが、一部説明が十分でない場合があるため、説明方法の見直しや職員間の充実を図り、より分かりやすい説明に努めて参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	1	3		自宅でのやり取りを相談したり、対応方法を相談すると親身に丁寧に対応してくれます。	現状では家族支援プログラムや保護者向け研修会の実施は行っていませんが、個別相談や相談、日々のやり取りを通して個別相談や研修会を行っています。今後は、保護者の皆さまへ支援の充実を図るため、研修会やプログラムの導入について検討して参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14	1				遠隔時による日々のやり取りしつかり状況を共有してもらっています。連絡等で体調に不調があった場合は電話で連絡してきてくれるので迅速でありがたいです。	説明時連絡簿や日々のやり取りを通して連絡簿を行い、お子様の状況について保護者の方と連携をはかるよう努めています。一方で日々のやり取りは多い場もあるため、今後連絡簿の活用や情報共有の機会を増やし、より丁寧なやり取りを目指していきます。
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1			1	最低でも6か月に1度のペースで面談(モニタリング)の機会があります。また、親子事を相談すると直ぐに面談を設定して対応してくれます。	現状は主に個別の相談や相談、連絡を通して助言等の支援を行っています。定期的な面談の機会については今後に実施し、保護者の方への継続的な支援体制を強化していきたいと考えています。	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					面談から親身になって話を聞いてくれて、相談にも寄り添って共感してくれます。	お子様や保護者の気持ちに寄り添う事を意識し、共感的な支援に努めています。日々のやり取りの中で個別相談の機会を設けていますが、より一層丁寧な対応ができるよう職員間の連携や研修を通して質の向上を図って参ります。	
18 父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	10		1	4		親子レク大会に家族で楽しく参加させていただきました。保護者同士の交流があまり出来なかったのが、大変だとは思いますが、またイベントを開催していただけたらいいな、と思っています。	現状では、保護者の定期的な面談や児童発達支援のイベントなど十分に実施できていませんが、行事を通して交流の機会を増やしていきたいと考えています。今後は、保護者同士の繋がりを支えるイベントの企画を検討し、家族全体を支える支援体制の充実を図って参ります。	
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているか。また、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	14	1				面談や悩みを連絡帳にお伝えしたり、直接電話で相談したりさせて頂いてもらっています。忙しい業務の多い中もしっかりと対応して下さるスタッフさんにも感謝して参ります。また、お電話は聞きにくい場合もスタッフさんにご相談したり電話を聞いて貰えたりしているためです。	相談対応の体制は整えており、連絡帳や電話、面談等を通して相談出来る環境を設けています。また、質問時に相談方法について説明を行っています。面談や電話による相談は速やかに対応するよう努めています。今後より分かりやすい相談や対応の体制の向上に取り組んで参ります。	
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	13	2					お子様の特性に応じたやり取りしやすい伝え方を意識し、言葉の通じが通じないよう配慮しています。また、保護者の方へは連絡帳に日々のやり取りを行っています。今後より個別に合ったやり取りや情報共有の機会を増やし、より丁寧なやり取りを目指していきます。	
21 定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13				2	ホームページを私が見ることが出来る機会があるか、SNSの発信もされているかとは思いますが、より分かりやすい発信方法や発信の工夫について今後検討して参ります。	ホームページや活動概要や行事予定の発信を行っています。また、運営規程やホームページも発信しています。自己評価の公表についても実施していますが、より分かりやすい発信方法や発信の工夫について今後検討して参ります。	
22 個人情報の取扱いに十分に留意されているか。	15					しつかり管理していると思う。	個人情報の取扱いを十分意識し、適切な管理・取り扱いを実施しています。個人情報保護に関する規定を厳守し、職員への指導を行うとともに、業務の継続管理やユーザーの適切な管理を行っています。今後も引き続き、適切な取扱いに努めて参ります。	
非常時 等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11		1	3	分からない、聞いたことが無い。説明を受けたが忘れてしまったかもしれない内容を詳しく覚えていない。避難訓練をしていると子どもから聞いたことがある。	訓練マニュアルは策定されており、職員への周知を行っています。保護者の方へ説明も実施しています。継続的な実施については今後さらに工夫して行きます。訓練についても実施していますが、より実践的な内容となるよう見直しを行い、対応力の向上に努めて参ります。	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14				1	定期的な訓練は行っており、避難訓練も実施しています。実際に1か月の活動予定表にも「避難訓練」と定期的に記載されています。	避難訓練は定期的に実施しており、避難訓練の計画について確認を行っています。一方で訓練内容の充実や定期的な実施の機会を確保するための見直しも実施しています。今後より実践的な訓練となるよう見直しを行い、対応力の向上に努めて参ります。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているか。	12	1			2		安全確保に関する取り組みは行っていますが、計画の周知や説明については十分でない部分があると感じています。今後より保護者の方への周知や説明を徹底し、安全確保の体制を強化して参ります。
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされているか。	14	1				活動中のやり取りや小さな怪我は必ず速やかに申し渡りがあります。又スタッフさんにも報告されています。また、現場は管理者から電話で連絡が入ります。	活動中のやり取りや小さな怪我は必ず速やかに申し渡りがあります。また、現場は管理者から電話で連絡が入ります。
満足度	27 こどもは安心をもって通所していますか。	14	1			本人にとっての心の寄りどころになっているくらい安心出来る場所になっています。	多くのお子様が安心して通所していますが、環境の変化や気持ちの切り替えが難しい場面には不安が見られることもありますが、その際、職員が迅速に対応し寄り添い、安心して過ごすよう配慮して参ります。	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	2			日々のプログラムが楽しくて来られています。また、お友達とたくさん遊べているので、通所を楽しんでいます。また、お友達と遊べるのが大好きです。また、お友達と遊べるのが大好きです。	多くのお子様が通所を楽しみにしていますが、その目的や理由、通所内容によって通所意欲が異なる場合があります。個々の状況に応じた取り組みを行い、楽しく通所出来るよう配慮して参ります。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	15					子どもとちゃんと向き合ってくれて、その子のペースに合わせてくれていること、寄り添ってくれていること、本当に感謝しています。	お子様一人ひとりの特性やニーズに応じた支援を行い、保護者の方と連携しながら丁寧な対応に努めています。今後より個別に合った支援を提供できるよう保護者の方への意見を聞き取りながら支援の体制の向上に努めて参ります。

